（第3種郵便物認可）

中日産業技術賞

職人魂 熱く強く

名古屋市中区の中日パレスで八日開かれた第二十五回中日産業技術賞の贈呈式では、式典に続いて祝賀パーティーが催された。受賞企業の関係者は開発の苦労話や今後の抱負を語った。＝30面参照

受賞祝賀パーティーで受賞企業のブースに集まる出席者ら＝名古屋市中区の中日パレスで

経済産業大臣賞に輝いた三菱電機の「超高速マイクロレーザ加工機」は名古屋製作所（名古屋市）で開発。同製作所の形山裕亮レーザ製造部長は「名古屋製作所のモノづくりの力を結集させたことで、他社との差別化ができた」と胸を張る。山本雅之所長は「携帯電話の電子回路以外の用途開発にも取り組み、さらなる市場を開拓したい」と意気込んだ。

中日新聞社賞を受けた大同特殊鋼の「集光型太陽光発電システム」は、太陽光をレンズで集めて発電効率を高めた。ソーラー部技術企画室の荒木建次室長は「設計を何度も変更し、レンズの成形を委託した業者とよくけんかした」と振り返りつつ、「名古屋出身の自分にとってこの賞は技術者の看板」と喜びを語った。

特別奨励賞を受賞したサンメディカル技術研究所の植え込み型補助人工心臓「EVAHART（エバハート）」は、小型で移動の自由が利きやすいため、心臓移植を待つ患者らには待望の製品化だった。血液が流れる部品の表面などを砥石で仕上げ加工する小尾治一さんは「少しのミスが血液の滞留を招きかねない。長年の経験と勘が生きる仕事」と強調。開発当初から携わる北条秀明さんは「より小型で使い勝手の良い人工心臓を目指す」と意欲を見せた。

三菱電機　野中秀恭専務執行役

IT社会 陰で支え

受賞した装置のキー技術は全て、当社が独自に開発し内製化したもの。メード・イン・ジャパンの技術がスマートフォンなどの高度なＩＴ製品に組み込まれ、情報化社会の進歩に陰ながらお役に立てていると感じています。技術立国をけん引する産業界の国際的な競争力はあると確信しており、受賞でその気持ちを新たにしました。

経済産業大臣賞

大同特殊鋼　嶋尾正社長

太陽追尾 効率高く

産業用発光ダイオード（ＬＥＤ）の材料開発の基礎テーマとして1999年に研究を始め、実用的な技術に仕上げることができました。レンズで集光率を高め、太陽を追尾して向きを変えるため、通常の平面タイプよりも発電効率が高いのが特徴です。北米の乾燥地帯や地中海沿岸などを主要ターゲットに展開したいと思っています。

中日新聞社賞

サンメディカル技術研究所　山崎俊一社長

医療機器 先駆けに

補助人工心臓開発のため私を含めて３人で会社をスタートさせ、ここまで20年もの歳月がかかりました。先行してきたアメリカを技術的には追い越したと思います。日本では、高度でハイリスクな医療機器分野に進出するベンチャー企業は数少ないですが、私たちが先駆けとなれれば。奨励賞の名に恥じないよう頑張りたいです。

特別奨励賞

2011.12.13中日新聞社許諾済